

「食べることは、生きること。生きるとは、食べること。」

一晩置いたカレーはなぜおいしいのか

稲垣 栄洋／著

家の光協会 223p 498/1



「二日目のカレーはおいしい」とはよく聞きますが、それはなぜなのでしょう？おいしくなる理由には中に入っているある野菜に秘密が隠されているからなんです。あの有名な「ダイコンは大きな根？」の作者がその謎を分かりやすく解説します。また、カレーだけでなく様々な料理や食材に関する「なぜ〇〇なのか？」が短く読みやすくまとめられています。おなじみの「ダイコンおろしはなぜ辛いのか」についても収録されています。

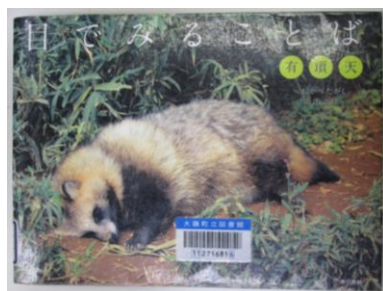
「ことばには「元の姿」があります。(略) その元の姿に思いを馳せることは、日本語の奥深さを知ると同時に、先人たちの暮らしを垣間みることにもつながると思うのです。」

目でみることば 有頂天

おかべ たかし／文

山出 高士／写真

東京書籍 175p 812/オ/3



「後の祭り」「小倉あん」「蒲(かば)焼き」「猿も木から落ちる」。何となく聞いたことはある身近なことばの由来を知っていますか？それらのことばの『元の姿』を写真で見ながら楽しむことができます。ちなみに作品の中に「有頂天」に関するページはどこにもありません。

大磯町電子図書館



Teens向き

2023年夏休みすいせん図書

なつやす 夏休みは、先生のおすすめ本を読む!!

おお 磯 町 立 図 書 館

0463-61-3002

「この先もずっと村人たちが健康でいられるようにするには、どうすればよいのだろう…。」

カカ・ムラド ～ナカムラのおじさん

ガフワラ／原作 さだまさし／〔ほか〕訳・文
双葉社 80p 333/カ



2019年に凶弾に倒れるまで、アフガニスタンで医師として医療支援をおこなっただけでなく、現地の人々が豊かに暮らすために、生活に欠かせない「水」の開拓も自らおこなった医師・中村哲さん。アフガニスタンの言葉で書かれた絵本がもとになった作品です。「カカ・ムラド」は現地の言葉で「ナカムラのおじさん」という意味です。中村哲さんの物語は読書感想文の課題図書にもなっています。導入として読んでみるのもいいかもしれません。

「おともなく、しずまりかえって、さむくしめっている。」

よあけ

ユリー・シュルヴィッツ／作・画

瀬田 貞二／訳

福音館書店 1冊 加E/シ



唐の詩人、柳宗元(りゅうそうげん)の漢詩「漁翁」がもとになっている絵本です。イラストがありますが、目の前に広がる山々、さざなみが立ち揺れる湖面、夜明けとともに徐々に明るくなっていく様子などが目に浮かびます。ぜひこれらの情景を思い浮かべながら漢詩の「魚翁」のほうも読み味わってみてください。

「街は軸となる場所を得て発展していく。かたや横浜の中心とはどこだ？」

横浜大戦争

蜂須賀 敬明／著

文藝春秋 340p F/h



神奈川の中でも大きな市である横浜。それぞれの土地を治めている土地神の集会で、横浜の大神は一人、疲れ切っていました。戦後から大きく発展し変化してきた横浜を、これまで自分一人で治めてきたために、いつまでたっても仕事が楽にならないのだと気づいた大神は、自分の代わりとなる横浜の中心を決めることを決意します。横浜の中心とはどこなのか？土地神たちの熱き戦いがはじまります。各区の特徴や歴史などをとらえた武器を持って戦う個性豊かな土地神が登場するだけでなく、横浜市についてもちょっと詳しくなれます。

「言霊は、心以外には効きませんが一心にだけは効くんですよ」

地獄の楽しみ方

京極 夏彦／著

講談社 141p TE914/キ



一般公募で集まった15～19歳の生徒におこなわれた特別授業を文章にまとめた一冊。難しくなくすらすらと読めます。人生の中でもややしたものが、なんとなく「なるほど、そうかなあ」に変わるような京極夏彦さんの考えや言葉が、若者だけでなく大人が読んでも楽しめます。本の最後には、生徒からの興味深い質問に京極さんが答えている場面があり、ここもおもしろいです。

